

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第119期第3四半期の営業の概況をご報告申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復したものの、欧州債務危機や中国及び新興国の成長鈍化により、引き続き低迷しました。わが国経済は、東日本大震災の復興需要等の公共投資の増加、住宅投資や個人消費の持ち直し等、期末において一部に下げ止まりの兆しが見られましたが、長引く円高や海外経済の下振れにより低調に推移してまいりました。

このような状況下、当社グループは、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針とした新中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を策定し、スタートいたしました。その一環として、ASEAN地域での需要増加に対応するため、トラック用ホイールの生産子会社であるトピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア（インドネシア西ジャワ州）の設立を決定いたしました。さらに、需要に応じた生産体制の構築、生産性の向上等のコスト改善にも引き続き取り組んでまいりました。

今後の経済環境の見通しにつきましては、政府が取り組む景気対策の効果によるわが国経済の回復及び中国景気の鈍化に歯止めがかかることが期待されるものの、欧州債務危機等による海外経済の動向に不透明感も強く、予断を許さない状況が継続するものと思われれます。

このような経営環境下、当社グループは、新中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進する中で、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとする中で、環境変化に強い事業構造を確立し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

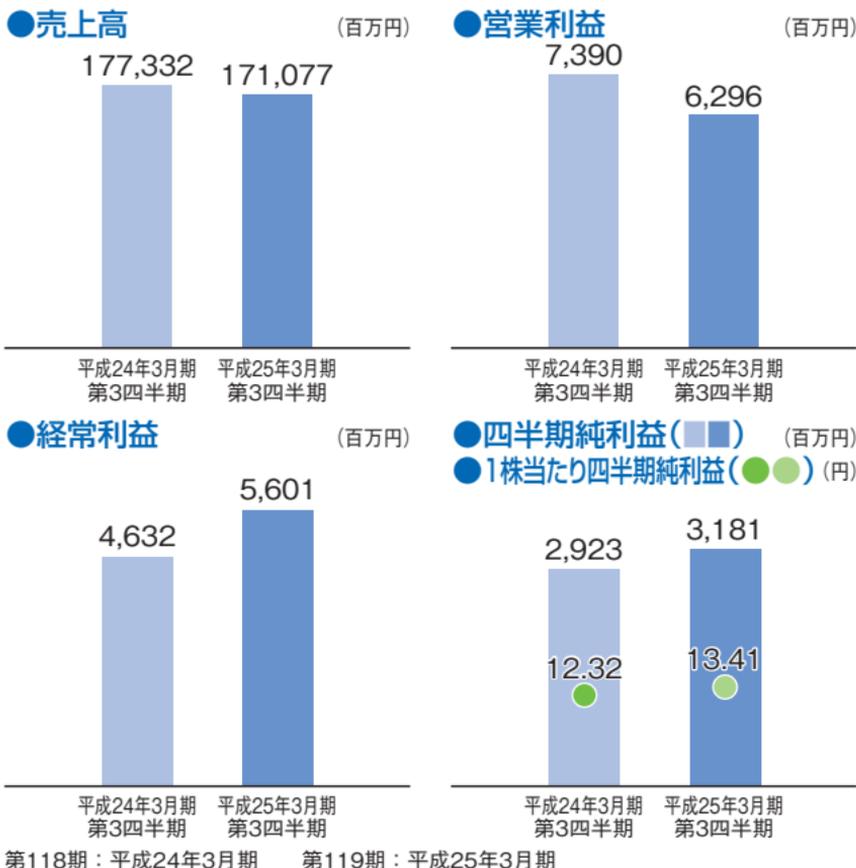
平成25年2月



代表取締役社長

藤井 康雄

連結業績の推移



四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	第118期 (平成24年3月31日)	第119期第3四半期 (平成24年12月31日)	科目	第118期 (平成24年3月31日)	第119期第3四半期 (平成24年12月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	111,936	99,185	流動負債	83,261	77,262
固定資産	100,891	110,002	固定負債	46,470	46,034
有形固定資産	71,930	80,626	負債合計	129,731	123,297
無形固定資産	1,525	1,069	純資産の部		
投資その他の資産	27,435	28,307	株主資本	86,739	88,969
資産合計	212,828	209,188	その他の包括利益累計額	△4,349	△3,793
			少数株主持分	706	715
			純資産合計	83,096	85,890
			負債純資産合計	212,828	209,188

セグメント別の営業概況

鉄鋼事業

売上高 49,955百万円  営業利益 1,059百万円 

電炉業界は、土木・建築向け需要の低迷が継続し、引き続き厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、市況低迷による販売価格の下落や自動車・産業機械部品事業に供給する建機用足回り部品向け鋼材需要の回復遅れによる影響を受けました。

自動車・産業機械部品事業

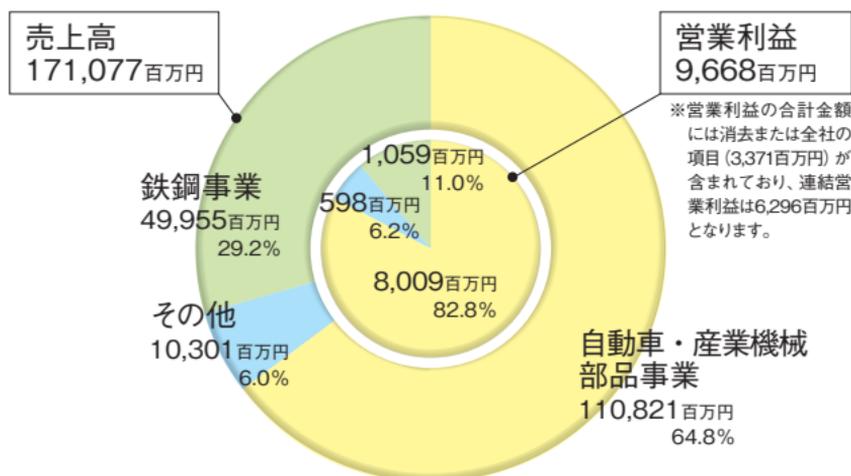
売上高 110,821百万円  営業利益 8,009百万円 

自動車業界は、エコカー補助金等の効果により、国内生産台数は前年同期を上回りました。一方、建設機械業界は、震災復興等に伴う国内需要が堅調に推移したものの、中国の需要低迷により、厳しい環境になりました。

このような状況下、当社グループは、建機用足回り部品は中国需要の減少の影響を受けたものの、トラック用ホイールにつきましては需要を着実に捕捉し、販売が好調に推移しました。さらに、あらゆる改善諸施策にも継続して取り組んでまいりました。

その他

売上高 10,301百万円  営業利益 598百万円 



連結業績の予想

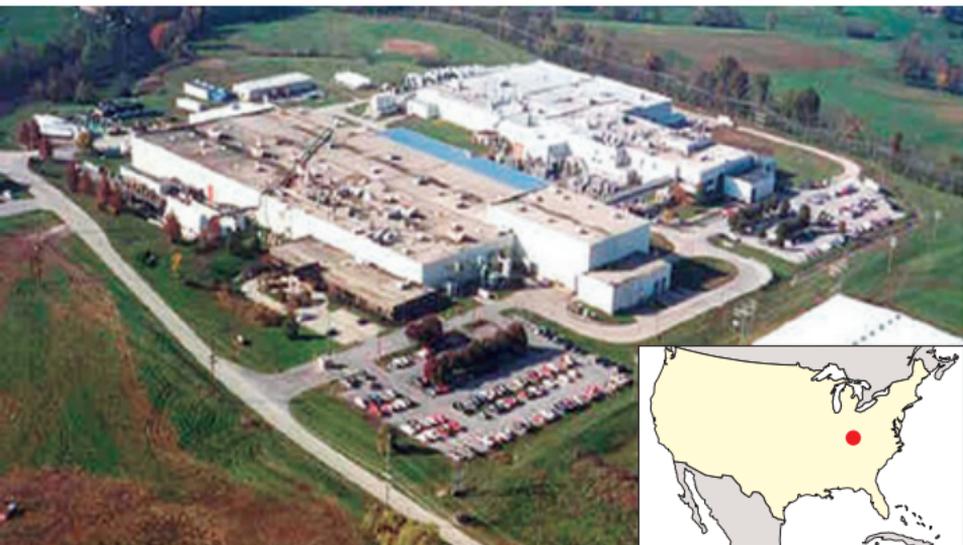
	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 予想
売上高	240,534百万円	236,000百万円
営業利益	10,554百万円	7,000百万円
経常利益	7,304百万円	6,200百万円
当期純利益	3,918百万円	3,300百万円
1株当たり当期純利益	16.52円	13.91円

配当の状況

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 予想
第2四半期末	2.00円	2.00円
期末	2.00円	2.00円
合計	4.00円	4.00円

平成25年3月期の連結業績予想および1株当たり配当予想に関しましては、平成24年9月21日に修正をしております。

平成25年3月期の第2四半期末配当に関しましては平成24年12月4日に支払い開始しております。



敷地面積 351千㎡ 従業員数 239人 (2012年12月末現在)
生産品目 乗用車・小型トラック用スチールホイール

トピーアメリカのケンタッキー工場(旧トピーコーポレーション)は、1985年に設立され、翌年には生産を開始しました。日系企業の中では、ケンタッキー州政府の誘致によるアメリカ進出の第一号でした。

現在、アメリカでは、燃費の良い小型車などへの買い替えや経済の回復を背景とした消費者の購買意欲の高まりにより、新車販売台数が堅調に推移しています。

ケンタッキー工場で生産するスチールホイールは、日系自動車メーカーをはじめ米BIG3などへ供給しています。当社の高い品質が取引先から評価され、北米スチールホイール市場において20%を超えるシェアを占めています。また、アメリカ以外にもカナダ、メキシコ、南米などの各国へ幅広く製品を送り出しています。

2010年には設立25周年を迎えることができました。今後も良き企業市民として現地社会に溶け込みながら、事業活動を推進してまいります。

